教育実習関連科目の履修条件確認について 【令和5年度以降入学生対象】

令和7年4月1日 学 務 課

教育実習関連科目(「教育実習 I・II」「選択の教育実習」「教職実践演習」)を 履修するための条件について、学生情報トータルシステムの教育実習関連メニュー内「教育実習履修条件確認」で確認が可能です。

以下の注意事項を熟読のうえ、各自、確認を行なってください。

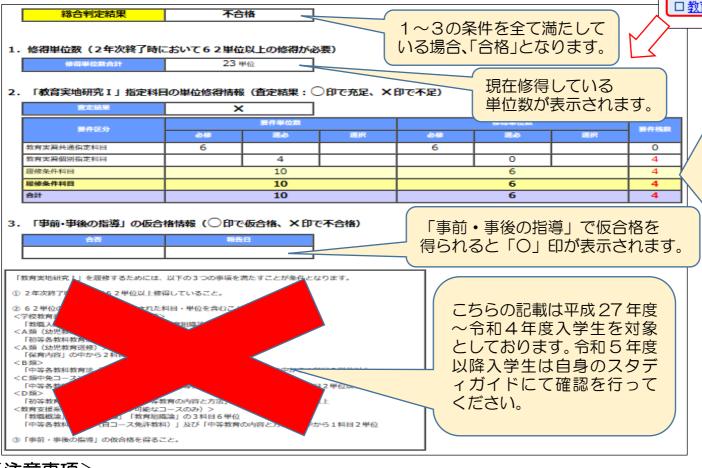
※画面上の「教育実地研究」は「教育実習」と読み替えてください。

<「教育実習(教育実地研究) [」の履修条件判定画面>



教育実習関連

- 口内諾報告書情報の登録・修正
- 口内諾報告書情報の参照
- □内諾報告用依賴·回答文書出力
- 口参加申込書情報の登録・修正
- 口参加申込書情報の参照
- □調査票・申告票情報の登録・修正
- □調査票・申告票情報の参照
- 口 教育実習履修条件確認



スタディガイド に記載のある指 定科目の単位修 得状況が表示されます。

<注意事項>を参照

<注意事項>

- この機能は、現在の単位修得状況を参考として表示しているものです。条件を満たしているかは必ず 自身のスタディガイドを参照のうえ確認を行なってください。
- 〇 「選択の教育実習」については、選修・専攻ごとに、通常、取得が想定されている免許種を設定しています(例: A類国語では「中・高国語一種」及び「特別支援学校一種」)。
- 「選択の教育実習」の単位修得情報では、A類現代教育実践コース、ものづくり技術コース、C類については、学生によって副免許(中・高)が異なる教科で取得の希望が想定されるため、「中等各教科教育法」の修得単位数についても複数の教科でカウントされるように設定していますが、実際には自身の「実習教科」で中等各教科教育法を取得する必要があります。異なる教科で単位を揃えても条件を満たしたことにはなりませんのでご注意ください。
 - 例:上記のコース・専攻の学生が「中等国語科教育法I」及び「中等英語科教育法I」の単位を修得している場合、システム画面上、「要件残数」は〇単位となりますが、いずれの教科でも教育実習に行くことができません。この場合、実習教科を「国語」もしくは「英語」のどちらを希望するかに合わせて、「中等国語科教育法II~IV」のいずれか、もしくは「中等英語科教育法II~IV」のいずれかを、2単位以上修得する必要があります。
- 「教育実習Ⅱ」や「選択の教育実習」を履修するための条件の一つである「教員採用試験を受験予定であること」については、条件を満たしているかについて、システム上に表示することができません。この履修条件に関しては、別途、指示をする予定です。
- 表示について不明な点等がございましたら、学務課までお申し出ください。